

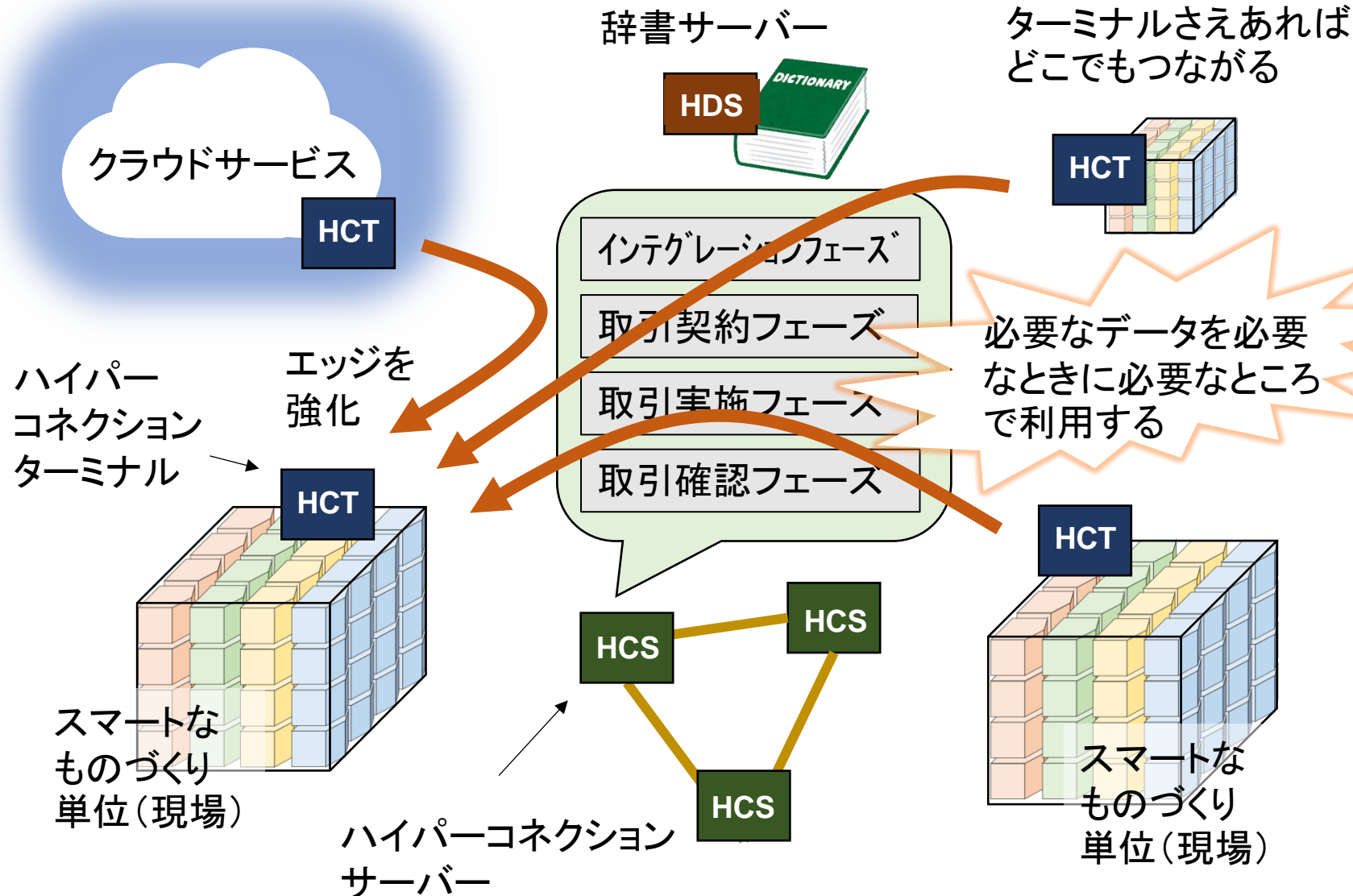
IVI公開シンポジウム 2019 -Spring-

2018年度
製造プラットフォームオープン連携事業
成果発表

2019年3月14日

インダストリアル・バリューチェーン
・イニシアティブ

配達証明付き国際郵便(ゆるやかな標準)



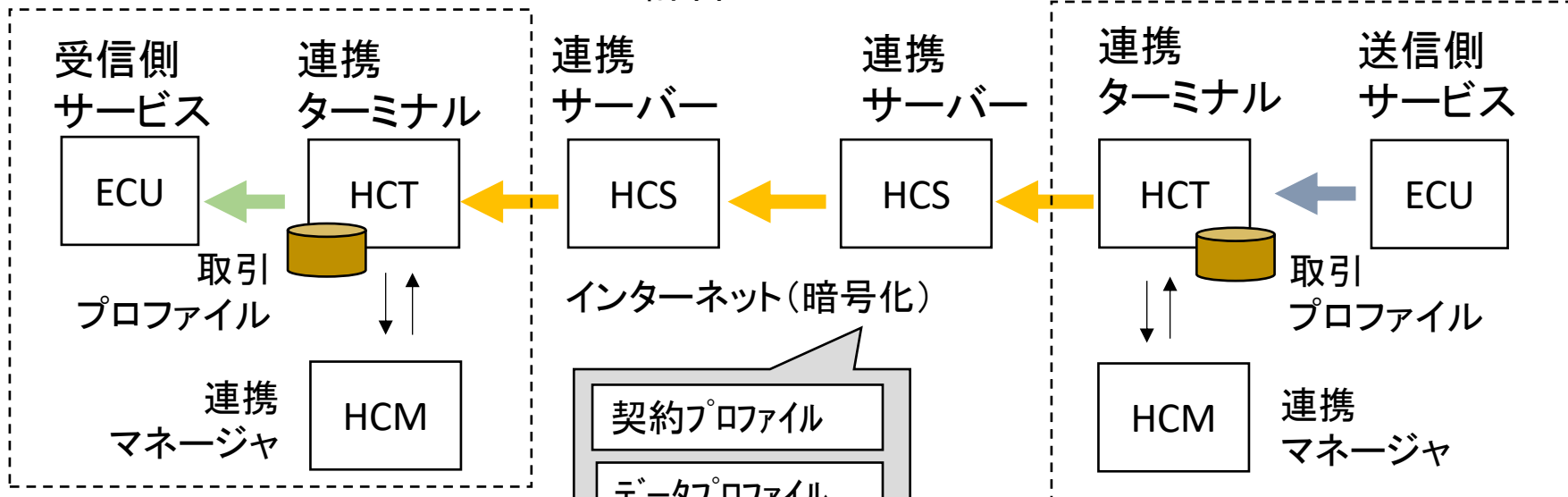
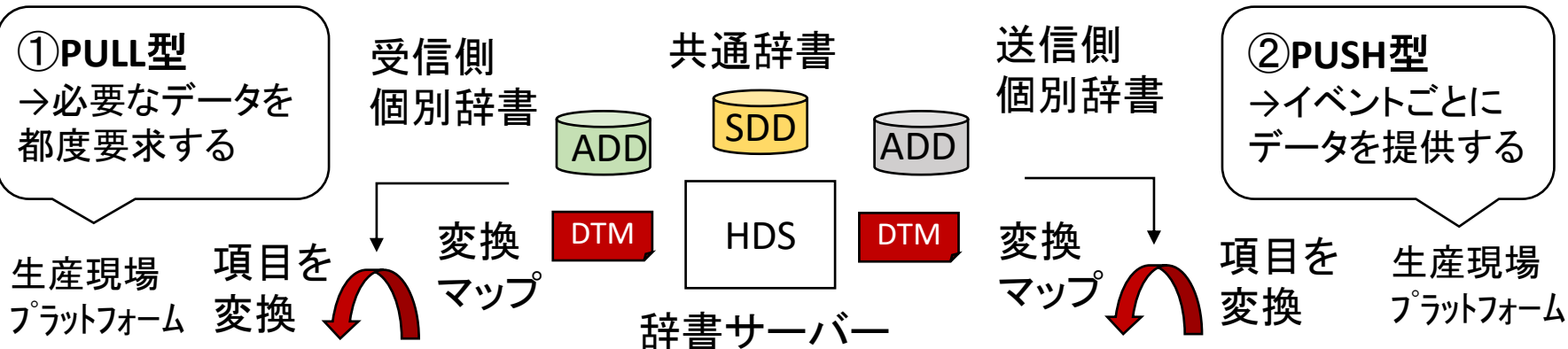
データと共に契約プロフィール交換

①PULL型

→必要なデータを
都度要求する


②PUSH型

→イベントごとに
データを提供する



- データの内容を事前に規定
- データの用途を事前に同意
- データの権利と義務を契約





知財としてのデータのオープン & クローズビジネスモデル開発

シナリオ 1 : 加工データの拠点間流通と利活用

社会課題

個別受注品あるいは試作品に対応して、現場で対話的に作成した工作機の制御プログラムを、部分的な加工条件や制御補正值にまで分解して共有する。実際の注文に対し、この加工データを個別の加工作業と対応付けることで、原価、品質、納期などの管理を拠点間で行う。



検査データ管理による品質保証の強化と製造業の高付加価値化

シナリオ 2 : 検査データ共有による課題発見

社会課題

ロボットによる加工部品の搬入、搬出、および加工後の品質検査（画像検査）の結果と環境データとを紐づけ、エッジ内部で品質管理を行うため必要なデータを外部から取得。品質問題が発生した際、エッジ内部のディープデータ(加工詳細情報)より、原因を特定、改善につなげる。



ブロックチェーンによる製造・金融連携と中小企業の取引強化

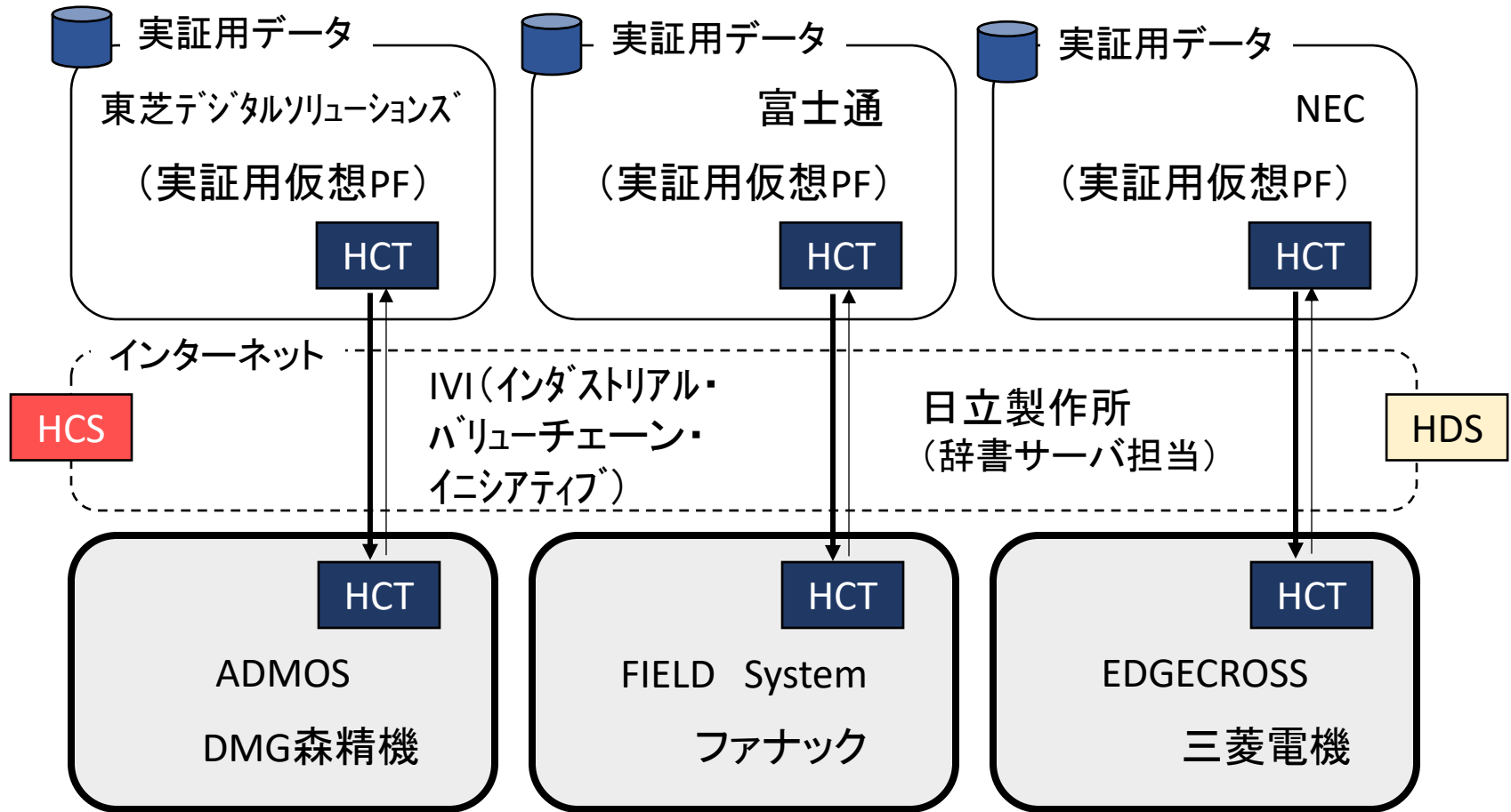
シナリオ 3 : 企業間の進捗データ共有と自動検収

社会課題

メーカーからサプライヤーに支給品が到着した時点で受発注が成立。工場内の資材の通過点でIoTの関所を設けて、そこで情報履歴を取得する。必要な検査データは各関所でチェックし、完成し出荷可能となった時点で支払い完了となる。完了の通知を受け取ったメーカーあるいは運送業者が完成品を取りに行く。



実証実験の全体構成(役割分担)



HCS/HST担当: YRPユビキタスネットワークング研究所

